

幕張新都心モビリティコンソーシアム 横連携 WG
(第3回) 議事要旨

時間： 2023年2月28日(火) 15:30~16:30
場所： オンライン開催
出席： イオン株式会社
イオンコンパス株式会社
イオンモール株式会社
NEC ソリューションイノベータ株式会社
株式会社 NTT ドコモ 千葉支店
小田急電鉄株式会社
京成電鉄株式会社
シャープ株式会社
株式会社スパサンフジ 幕張温泉 湯楽の里
損害保険ジャパン株式会社
株式会社千葉ステーションビル
東京海上日動火災保険株式会社
東日本旅客鉄道株式会社
MONET Technologies 株式会社
神田外語大学
一般社団法人千葉県タクシー協会
千葉市
デロイト トーマツ コンサルティング合同会社

以上 (順不同)

議題

- (1) 今年度 MaaS 実証実験について
 - ア. 今年度 MaaS 実証実験について進捗共有
 - イ. 質疑応答
- (2) 各 PT の振り返り (議論と課題の共有)
 - ア. モビリティ利活用 PT
 - イ. MaaS プラットフォーム PT
- (3) 来年度コンソーシアム体制について
- (4) 幕張豊砂駅開業まつりの開催のお知らせ

配布資料

資料 1 22 年度幕張新都心版 MaaS 実証実験 概要と進捗共有

資料 2 第 3 回横連携 WG

資料 3 幕張豊砂駅開業まつり

議事内容

1. 開会

2. 議題

(1) 今年度 MaaS 実証実験について

ア. 今年度 MaaS 実証実験について進捗共有

■ 株式会社 NTT ドコモより資料 1 に沿って説明

イ. 質疑応答

■ KGI として設定している「行動変容率」の定義について

- プッシュ通知でレコメンドされた店舗に何%の利用者が実際に来訪したかで定義

■ 来訪者への告知方法について

- 報道発表、ランディングページ、ドコモショップでのチラシ配布、オウンドメディア等による告知を検討

(2) 各 PT の振り返り（議論と課題の共有）

ア. モビリティ利活用 PT

■ 東日本旅客鉄道株式会社より資料 2 に沿って説明

■ 第 1 回 PT の振り返り

- 昨年度の取組の振り返りと、幕張新都心の移動課題に対する解決策についてグループワークを実施

■ 第 2 回 PT の振り返り

- 昨年度と第 1 回 PT で出たアイデアのうち、実現性や回遊性向上へのインパクト、MaaS 連携の観点から 6 つの施策案に事務局で絞り込み、共有
- グループワークでは、施策案の課題の洗い出しや実現に向けた検討、回遊性向上施策の MaaS 連携について討議

■ 第 3 回 PT の振り返り

- 施策 A「来訪者が訪れるイベント施設から周辺施設への回遊性向上」と「様々なモビリティ、MaaS アプリを利用した回遊性向上施策」の 2 つのテーマに関して、各社が自社内で検討可能な施策を発表し、実現に向けた討議を実施

■ 第 4 回 PT の振り返り

- 来年度の PT で取り組む内容や体制について議論を実施

■ 来年度検討テーマ（案）

- 来年度は幕張新都心の主な移動課題を踏まえ、今年度選定した回遊性向上施策の実行など、具体的な施策の実現に向けた取り組みを実施

イ. MaaS プラットフォーム PT

- MONET Technologies 株式会社より資料 2 に沿って説明
- 第 1 回 PT の振り返り
 - 幕張新都心版 MaaS 社会実装サポート事業採択者の NTT ドコモより、今年度下半期 MaaS 実証実験の概要を共有
 - 昨年度実証の中で来訪者へのサービス認知と目的想起、モビリティ連携の 3 つの課題があることを共有し、課題解決策を検討
- 第 2 回 PT の振り返り
 - 上記 3 つの課題のうち、来訪者へのサービス認知が最も必要かつ各社連携可能な領域であるため、MaaS 認知獲得施策に絞って検討
 - MaaS 認知獲得施策のうち、事務局で実現可能性・インパクトの観点から 4 つの施策案に絞り、PT メンバーで検討
- 第 3 回 PT の振り返り
 - 中間まとめ報告会での意見を踏まえ、各 PT メンバーから MaaS 認知獲得施策に関する発表を実施
- 第 4 回 PT の振り返り
 - PT アンケートの結果から、来年度は施策案 A「街全体で連携して MaaS をアナログに案内する」施策に取り組むことを共有

(3) 来年度コンソーシアム体制について

- 千葉市より資料 2 に沿って説明
 - 来年度の体制案
 - アンケート結果に基づき、来年度は具体的事案に対して実施主体(リーダー)を筆頭に各 PT を設置することで、小規模で迅速に動ける体制をとる方針
 - 来年度は WG を廃止し、会員発意での PT テーマの設定・立ち上げ、リーダー会員による主体的な PT 運営を想定
 - 来年度の体制案について、コンソーシアム会員は概ね合意する意見が多数。テーマ案については今後事務局や会員の提案により決定
- 質疑応答
 - PT 組成のスケジュールについて
 - 事務局としては、総会後の 3 月～4 月に PT の数や内容を固めたい
 - PT メンバーの条件について

- PTメンバーはコンソーシアムに参加していることが条件
- 千葉市のサポートについて
 - 第5回総会で、千葉市が次年度事業として取り組むことについて情報共有を行う（事業内容・金額等含む）
 - 千葉市の事業内容も参考にしながら、PTの組成や参画についてご検討いただきたい
- モビリティに知見がない団体のPT参加について
 - 短期間のイベントに関するPTなどにご参加いただきたい

(4) 幕張豊砂駅開業まつりの開催のお知らせ

- イオンモール株式会社より資料3に沿って説明
 - 幕張豊砂駅開業に際して5団体（千葉市、千葉県、イオンモール、JR、千葉ステーションビル）が主体となり、新駅の認知向上や幕張新都心の回遊性向上を目指して様々なイベントを実施
 - 「幕張豊砂駅開業まつり」共通ロゴマークを作成することで、一体感を醸成

3. 総括

- 横連携WG幹事のイオンモール株式会社より、今年度横連携WGに関する総括
 - 新駅開業に合わせた横連携を期待して設置されたWGだったが、各社の利益と街の発展の両立が課題
 - 来年度は体制を変え、トライ&エラーを繰り返すことで機動的な組織にしていきたい。そのためにも各会員の主体的な参加をお願いしたい

4. 連絡事項

- 第5回総会を3月10日（金）14:30~15:30に千葉市役所新庁舎（高層棟2階）にて開催（オンライン参加も可）。総会終了後、会員同士が意見交換を行える交流会も開催予定（現地参加のみ）
- 2023年度コンソーシアム運営体制については、第5回総会にて決定後、正式にアナウンス

5. 閉会

以上